

交運労協 FAX ニュース NO. 17

港区芝浦3-2-22 田町交通ビル3階 発行日 2016年5月12日
TEL:03-3769-6571 FAX:03-3769-6570 発行人 高松 伸幸
交運労協URL <http://www.koun-itf.jp>

【2016年政策・制度要求】

国土交通省自動車局と

政策・制度要求について交渉を行う！

5月11日10時より、国土交通省1階共用会議室において、国土交通省より「2016年政策・制度要求」の回答を受け、交渉を行った。

交運労協からは、12名が出席するとともに、政策推進議員懇談会顧問である高木義明衆議院議員、田城郁参議院議員佐々木秘書にも同席いただいた。

冒頭、自動車局を代表して岩崎総務課長が挨拶し、「日頃から、交運労協及び政策推進議員懇談会の皆さんには、交通行政に対してのご指導とご支援にお礼をすると共に、熊本地震の緊急物資輸送などにご尽力されていることにも感謝を申し上げます。これからは地域公共交通網形成計画、及び再生計画を



【交運労協を代表して挨拶を行う高松事務局長】

どう実行するかが重要である。労働環境改善も急務である。1月には軽井沢にてスキーバス事故が発生した、安全確保は最重要課題であると考え、現在、検討委員会において対策を取りまとめている。本日は貴重な場と考えていて、ご意見を踏まえ、今後ともご相談しながら交通行政を進めていきたい」と述べた。

交運労協からは高松事務局長が挨拶し「日頃からのご指導にお礼を申し上げます。陸・海・空モードそれぞれで人手不足が深刻であり、それが起因して安全を脅かすことになっている。政策の推進を通じ、労働環境改善につとめ魅力ある産業とし、安全・安心な交通産業を築くためにも関係省庁としてご尽力頂きたい」と述べた。続いて高木衆議院議員にも挨拶いただいた。

その後、以下の要求について、各担当局課から回答を受けた後、各構成組織参加者から新規参入要件、監査体制の強化、労働時間の改善基準告示など質問及び要請を行った。回答内容については後日送付することとする。 以上

《自動車局・2016年政策・制度要求》

【バス関係】

1. 軽井沢スキーバス事故を受けた再発防止策について
2. 新しい貸切バスの運賃・料金制度について
3. 貸切バス車両確保に向けて
4. バス運転者の労働条件改善と人材確保について
5. 地域公共交通確保維持改善事業について
6. 地方バスの維持・活性化等について
7. 国内における観光活性化に向けた二次交通の利便性向上
8. 移動制約者の移動円滑化について

【自動車局(ハイタク関係)】

1. 改正タクシー3法の附帯決議(衆議院・参議院)の着実な実行に向けて
2. 東日本大震災関係について
3. 各種施策等の改善について
4. 違法営業の根絶、輸送秩序の確保について
5. 規制緩和の弊害関係について
6. 公共交通における道路使用優先策について
7. 安全及び福祉関係について
8. 「改善基準告示」の遵守について

【自動車局(トラック関係)】

1. 輸送秩序と公正競争の確立について
2. 参入要件の厳格化と最低車両台数規制の見直しについて
3. 適正運賃の収受に向けた施策について
4. トラック輸送の取引環境・労働時間改善に向けた対策について
5. 荷主勧告制度の実効性の確保に向けた対策について
6. 過積載の防止対策等について
7. 安全運転や事故防止に資する施策の推進について
8. 営業所から離れた車庫に駐車しているトラックに乗務する際の点呼の手順の見直しについて
9. 陸上貨物輸送における危険物に関連する規制について
10. 特殊な貨物の輸送に対する配慮について
11. 国際海陸一貫運送コンテナの安全運送及び渋滞解消対策について

以 上

